【様似地域】

地域マリンビジョン目標の達成に向けた取り組み

●マナマコ人工種苗生産・放流事業

マナマコ人工種苗生			may and a fee
	と地域活性化の取り組み(地域の目指すべき姿)(Plan)		関連資
地域 MV における取組の位置付け	【地域の目指す姿】 ○つくり育てる漁業の推進による水産資源の維持・増大 【主な取り組み】 ○持続的かつ良質な生産の確保	取組場所	【取組の様子】
見状における取組実	・マナマコ漁獲量はH2の60tをピークに減少傾向となりH10年以降は20~30t台で推移している。		
色の背景	資源の更なる増大及び維持するため、H29年より漁業者が主体となり関係機関と連携しながら人工種苗	生産・放流を実施	
取組により期待する	・持続的な生産数の確保		
効果			
(2) 取組内容・実施体			
取組内容、方法、手			
順、実施体制	・マナマコ人工種苗生産~放流 ・陸上での中間育成		
	・今年度はウニ種苗センターで陸上中間育成を開始		
	【取組方法】		
	・浦河町のウニ種苗センター内で採卵~受精~幼生飼育を行う		
	・放流は様似2箇所(様似・鵜苫)、浦河3箇所(荻伏・東栄・浦河)		
	・鵜苫地区→着底稚仔放流(269. 3 万粒)		
	様似地区→着底稚仔放流(269.3 万粒) 中間充成(146.3 万粒)		
	中間育成(146.7万粒)→中間育成計数後(46,600 粒)		
	【取組手順】		
	• 7月18日		
	親ナマコ採取、採卵~人工授精、受精卵収容、幼生飼育		
	• 8月2日		
	各漁港にて着底稚仔放流、陸上中間育成開始		
	・11 月 8 日 陸上中間育成分の計数調査		
	隆工中间自成分の計数調査 ・11月9日		
	·— · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		N. N.
	実施体制:日高中央漁協、様似町、浦河町		
(3) 効果項目に対する			
カ果目標の達成度評 -			
ī.	(うち、様似地区: 543.2 万粒 他地区: 1,277.6 万粒)		
支省点	•		
(4) 取組の改善措置			
は組内容の改善点	・生産数増加による作業工程の見直し、効率化を図る		
双組の実施に必要な	・適切な放流サイズの見極めや生息適地の検証について引き続き検証が必要		
5 0	・各地での取組方法等の情報収集		
	・放流予定地の赤潮の状況把握		